

## 平成29年度第2回香芝市都市経営市民会議 議事要旨

開催日時	平成30年2月20日（火）午前10時00分～12時00分
場 所	香芝市役所 本庁舎 3階 第1会議室
出席者	中川会長、平越副会長、石原田委員、乾委員、粕井委員、吉村委員（計6名）
欠席者	小西委員（計1名）
事務局	企画部長、企画部次長、企画政策課職員
議 題	「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における事業の進捗確認及び改定案について

### 1. 「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における事業の進捗確認について

#### ○概要

「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられている各施策の事業について、平成29年度の進捗状況のまとめを事務局から報告し、都市経営市民会議委員から意見をいただいた。

#### ○意見・質疑

##### 基本目標1 「香芝における安定した雇用を創出する」（施策1～4 全13事業）

- 施策2（産学連携促進）について、マッチングがうまくできていないとのことであるが、要因はどういったところか教えていただきたい。  
⇒（事務局）企業側が求める知識・技術と大学側が提供する知的資源のレベルがうまく合わないことが要因。現在進行中のプロジェクトは相撲グラス、商品のネーミング・ラベルデザインといったデザインを中心としたものである。  
大学を変更する等、産学連携をさらに活かしていく方法を検討していくべきと思う。
- 施策3（市外からの企業誘致の推進）については、市外から市内への企業の引き込みが思うように進んでいないように思えるが、状況はどうか。  
⇒（事務局）実際の相談件数は少ない状況である。企業側が求めるニーズにマッチングするような事業用地を提供することが難しい。
- 施策2（産学連携促進）については企業側から大学の専門的な知識についてのニーズはないのか。  
⇒（事務局）過去にはあったが、今年度の事業にはない状況となっている。現状、若い人の感性を求めているだけになっているので、今後改善していくべきと思う。
- KPI 目標については未達成になっているものが多い。目標の見直しをしていかないのか。  
⇒（事務局）計画策定当初に設定した目標の中には達成が難しいものもある。目標の見直しも含めて今後検討する。
- 施策3（事業用地登録制度の実施）については難しいと思う。市内の不動産会社と連携してみてもどうか。  
⇒（事務局）昨年度は不動産会社への訪問を実施し、今年度も継続訪問を予定している。また、毎年度ホームページでの周知を行っている。
- KPI の目標値を達成可能な目標に変更するべきと思う。このままでは計画自体の信頼性を失う。

## 基本目標2 「香芝への新しいひとの流れをつくる」(施策5～7 全14事業)

- 施策5 (行政情報の発信) については、子どもたちから香芝のことを広報してもらうような働きかけをしてもよいのではないかと思います。  
お味噌・お酒などの地域ブランドは日本文化を表わすものだと思うので、海外にアピールするのも面白いと思う。
- 施策6 (市内企業合同説明会) については、奈良県では学生をバスに乗せて企業を訪問するという取組みを行っているので、そういう能動的な取組みを取り入れても良いと思う。
- 施策7 (地域ブランド商品・製品の開発) については、地場製品の販売力が弱い。販売力を強化し、他市にもっとアピールしていくべきと思う。
- 施策5 (広報紙発行事業) については、広報紙をあまり見てもらえていない。市民の方から掲載できる仕組みがあってもよいと思う。
- 施策7 (ふるさとまちづくり寄附金事業：新規) については、事業を指定した寄附をできるのか。  
⇒ (事務局) 大きく福祉の事業で使ってほしいといった指定はできるが、具体的な事業を指定できる仕組みはできない。今後検討していく。
- 施策6 (市内企業合同説明会) については、有効求人倍率が非常に高く、本説明会までに内定を受けている学生が多いことから、参加者が減少している。今は実施しない方向でよいと思う。
- 施策5 (広報紙発行事業) については市民向けの広報に留まっている。広報とは外部からの注目を集めるためにするもの。憧れられるようなまちをつくるためにもっと外に向けて発信していくべき。全体的に待ち受け型になっている。

## 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる(施策8～10 全16事業)

- 施策8 (親子の健康づくり推進事業) については、妊婦訪問指導の件数が少ないがどのような方が対象となるのか。  
⇒ (事務局) 特定妊婦 (精神疾患、虐待等抱えている人、16歳) またその他訪問指導が必要と思われる方で希望する人のみ対象となっている。
- 施策10 (生活困窮者自立支援事業) について、生活困窮者とはどういった方が対象となるのか。また、生活困窮者の自立支援については、みまもり隊や警察との連携はできているのか。  
⇒ (事務局) 生活保護世帯や生活保護に至るまでの方、自立支援が必要な世帯が対象となる。みまもり隊や警察との連携については、システム的な連携はできていない。今後各機関との連携を検討していく。
- 施策10 (生活困窮者自立支援事業) について、各機関との連携強化が必要だと思う。
- 香芝の魅力は若い人が多いこと。施策9 (保育サービスの充実) については、私立幼稚園では一時保育サービス等実施済みだが、公立保育所においては遅れているので頑張りたい。
- 施策9 (学校教育環境整備事業：新規) について、トイレ洋式化は全てのトイレが対象となるのか。  
⇒ (事務局) 予算の中で順次改修を行っていく予定である。  
エアコン設置工事や校内LAN整備についても、予算の中で順次行っていくのか。  
⇒ (事務局) 状況をみながら、順次行っていく予定である。
- 施策8 (地域で子育て応援事業) については、子育て支援事業参加者数の平成29年度実績が大きく落ちている要因はどういったところか。  
⇒ (事務局) 保育所の入所者数が増加したことが要因と思われるが、詳細までは分析できていない。

**基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する  
(施策11～15 全22事業)**

- 子どもたちの安心・安全という点では通学路に危険はないかということや、施策13（防災用品等備蓄事業）に関して、避難場所が学校で良いのかということは今後考えていくべきと思う。
- 施策15（自治体間連携・官民連携推進事業：名称変更）について、具体的にどういった企業との連携を検討しているのか。
  - ⇒（事務局）具体的な企業は現状ない。今後も様々な分野で企業と連携できればと思う。
- 災害の連携協定はしてないのか。
  - ⇒（事務局）災害の連携協定は物資の援助や職員の派遣等について約38本締結している。また、災害パンフレットを作成し、市民向けに周知している。
- 学校の授業に災害をテーマとして取り入れても良いと思う。
- 施策13（流域貯留浸透事業）については、ため池を農家だけで維持するのは困難になってきている。緊急課題であると思うので、対策を検討するべき。
- 全体的にKPIの達成率が低い。もっと頑張ってもらいたい。
- 施策13（防犯対策事業）について、どのような場所に防犯カメラを設置しているのか。
  - ⇒（事務局）駅付近等人通りの多い場所に設置している。
- できるだけ防犯カメラを多く設置し、事件の抑止につなげてほしい。
- KPI目標について、下水道管路更生や市内重点整備地区内における市道等のバリアフリー化整備率は達成不可能な目標ではないだろうか。目標修正を検討してほしい。また、災害や防犯を自治体に頼りすぎている。若い人も参加できる地域づくりをしていくべき。

**2. その他**

RESASによる香芝市の分析報告、その他連絡事項を伝達

以上